



# 母乳通信 第30号

母乳通信は、しんしろ助産所の母乳育児に関する考え方と手技をまとめた通信です。  
母乳で育てたいプレママ・ママを応援します。

母乳の色といえば初乳の黄色、もしくは白っぽい色。それが、血が混じって赤くなっていることに気づいたら不安になってしまいますね。今回は母乳に血が混じる「**血乳**」についてお伝えします。

## <血乳の原因>

妊娠中～産後1週間頃、乳管が急激に発達する時に新しい血管が作られます。その血管がもろく弱いために出血しやすく、それが母乳に混じることが原因といわれています。

## <血乳の特徴>

- ★初産婦に多い
- ★ママには痛みなどの不快な症状はない
- ★両側のおっぱいから出ることが多いが、まれに片側だけのときもある
- ★数日～1週間でほとんど消失する

## <血乳と間違えやすいとき>

- 初乳の色が濃いと茶褐色に見えることがあります。
- ママが摂取した食べ物や薬の影響で赤っぽくなることもあります。
- 乳管からではなく、乳頭の傷から出血が混じっていることもあるのでどこからの出血かをよく観察しましょう。

↳ 血乳かどうかを見分けるには、乳汁を白いガーゼに吸い取らせてみるとわかることもありますが、判断に迷う場合は医療機関などで相談しましょう。

## <血乳の時の対応>

### ◆授乳について

基本的には赤ちゃんが飲んで問題はないと言われています。特に、初乳の時期は大事な成分もたくさん含まれているので中止する必要はありません。

### ◆赤ちゃんへの影響

血乳の母乳を飲んでいる時は、赤ちゃんの便が黒っぽくなったり、吐いたものに血が混じることがあるのを覚えておきましょう。

### ◆病院受診の目安

1週間以上経っても改善しない場合は医療機関を受診しましょう。

しんしろ助産所

